

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	亜細亜大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	東京
大学全体の総収容定員	6,150名	※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	経営学部（経営学科、ホスピタリティ・マネジメント学科、データサイエンス学科）、経済学部（経済学科）、法学部（法律学科）、国際関係学部（国際関係学科、多文化コミュニケーション学科）、都市創造学部（都市創造学科）			
事業計画名	DXを通して健康スポーツ社会を実現する「亜細亜大学健康スポーツ科学部」設置計画			

2. 事業概要

<p>DXを通して健康スポーツ社会を実現する学部の開設を目指す。 本学は、すでに全学的にデータサイエンス教育に取り組んでおり、これまでに「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」のリテラシーレベル、応用基礎レベルの認定を受けている。また、社会が本学に持つイメージの一つとして「スポーツの盛んな大学」が挙げられる。一方、社会的にはスポーツ領域でのDX推進への需要が高まっている。これらを背景として、新たな学部では、健康スポーツの深い理解と実践力、および経営に関する素養を身に付けた、DXに対応可能な人材、すなわち様々なデータを取得、分析、活用できるスキルを備えた数字かつICTに強い人材を育成する。入学定員100名、収容定員400名とし、令和8年度開設予定とする。</p>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度			
認可申請・届出の別	認可申請			
改組内容	学部の新設			
設置等組織名	健康スポーツ科学部			
設置等組織の学位分野	工学関係	体育関係	-	-
当該学部等の所在地	東京都武蔵野市境			
入学定員	新設予定			
収容定員	新設予定			
入学定員の増加数	100名			
他学部等の入学定員の減少数	0名			



事業計画名 DXを通して健康スポーツ社会を実現する「亜細亜大学健康スポーツ科学部」設置計画

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	健康スポーツ科学部	入学定員増数(合計数)	100
所在地	東京都武蔵野市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	0

健康スポーツ社会の実現と発展に資する「健康スポーツDX人材」の育成

【社会や地域のニーズ・課題】

Well-being向上

健康スポーツ産業、市場の拡大

デジタル社会

DX対応人材

- 人々のwell-being向上および多種多様な社会課題解決に貢献し得る健康スポーツ産業は、今後ますます発展していく領域である。
- 健康スポーツ及び経営に関する素養に加え、**様々なデータを取得・分析・活用できるスキルを備えた、数字かつICTに強い、DXに対応可能な人材の需要がさらに高まる。**

健康スポーツ及び関連産業への応用

- 健康スポーツDXを活用したスポーツビジネスの展開
- スポーツDXコンソーシアム構想

PBL

地域住民の健康増進、コミュニティーの活性化

- 地域住民の健康増進施策、運動・スポーツ実施率の向上
- 健康スポーツDXを活用した地域コミュニティーの活性化

【設置学部等の概要・コンセプト・特徴など】

文理融合型教育

健康スポーツDX人材育成拠点

地域住民の健康増進拠点

健康スポーツDXによる地域貢献

- 健康スポーツ産業の発展において不可欠な『**健康スポーツDX人材**』の育成に取り組み、当該産業及び関連産業の発展に資することができる人材養成を目指す。
- 工学**の学修を前提として、複数のカメラ映像から人の複雑な動きの解析や身体機能の強化・障害予防といった**スポーツ科学**の学修に加え、**スポーツビジネス**も学修する**文理融合型教育**を行う。
- 最新機器を導入**したトレーニング実習室、スペースが必要な身体運動を行える多目的実習室を備えた『**実験実習棟**』を**新設**する。同施設は地域住民にも一部開放し、『**地域住民の健康増進拠点**』とする**構想**があり、地域に根ざした施設整備をする。
- 地域住民に対して、健康スポーツDXを活用したテラーメイド型健康運動プログラムの提供や運動指導を行うなど、**教育研究の成果を地域社会へ還元**する。

【多様な入学者の確保】

高大接続強化

女子比率向上

- 入試における女子枠の創設、男女の教育機会均等を図る奨学金制度改革など、**女子学生比率の向上と優秀な女子学生の確保のための募集広報を展開**する。
- 近隣の高校と高大連携協定を結び、本分野に興味関心のある学生が本学部で学べる体制を整える。また、学校推薦型選抜や総合型選抜を活用し、**普通科以外のコースで学ぶ高校生や修学意欲の高い者も積極的に採用予定**である。

【連携を通じた教育体制の整備】

産学官連携

- 自治体、企業からの講師派遣による特別講義やスポーツ経営にDXを活用させている現場を体験する実習科目など、**自治体・産学連携を通じた教育体制を構築**する。
- 最新設備を備える施設とデジタル技術を活用し、楽しみながら学ぶ体験型教育プログラムなど、**初等中等教育との教育連携事業**を図る。

【教育内容・育成する人材像】

理論×実践

- 基礎理論から実験・演習、自治体及び企業連携を利用した学外実習へと移行し、**理論と実践を融合した体系的なカリキュラムを編成**する。
- デジタル技術を活用した新たな運動・スポーツプログラムの開発、運動・スポーツ実施機会の創出に係る人材、ヒトの行動のデジタル化や生体情報を科学的に分析できる人材を育成する。